

プログラム設計第2回レポート レビュー方法について

レビューは以下の順番で行う。おおむね 1～5 を 3 時間目に、6 を 4 時間目に行う。

1. グループメンバ・グループ番号の確認(5 分)

4 人一組でレビューを行うのでグループを作る。周りで適当に調整のこと。4人揃わない場合は3人でもよいが、2人以下は避けること。互いに自己紹介をして、名前を確認し、グループメンバの各人へ A～D (3人の場合は A～C) の記号を割り振ること(レビューシートに記入する際に用いる)。グループ番号は、グループメンバのうち学籍番号が一番若いものの学籍番号とすること。

2. レポートの交換(5 分)

自分のレポート(PDF ファイル)を他の 3 人にダウンロードしてもらうことによって、グループ全員が全員分のレポートを持っているようにせよ。手段はグループ内で合意できればなんでもよい。最悪、メールが使えるはず。

3. 他人のレポートを読む(15 分)

自分以外のレポートを、1つにつき5分間で読め。読みながら以下の点をメモ用紙にメモしていくこと。

(1) 要求された全てのドキュメントが揃っているか？

問題文、ユースケース図、シナリオ1つ、クラス図、シーケンス図、感想、所要時間

(2) 要求された仕様を満たしているか？

ユースケースは 4 個以上

(3) 問題文は適切な設定になっているか？ 魅力のある問題であるか？

(4) ユースケースは問題に対して適切に表現されているか？

(5) シナリオは具体的に表現され、機能や動きがわかりやすいか？

(6) 同様に、クラス図は適切に表現されているか？

(7) 同様に、シーケンス図は適切に表現されているか？

(8) 全体として読みやすいか、理解しやすいか？

(9) 上記以外、優れた点、問題点

4. レポートの説明(1 人 10 分/計 40 分)

4 人順番に、自分のレポートに関して、問題文の説明、コンテキストダイアグラムや詳細化の方針、トランザクションの分け方、構造図の作成方針など 5 分程度で説明したのち、他の 3 人は 5 分程度で、チェックした問題点を順次指摘し、議論せよ。

5. レビューシートの記入とアップロード(20 分)

別途用意されたレビューシートの内容を埋めて(自分のレポートも、客観的な視点でレビューせよ)、CLE にアップロードせよ。アップロードするファイルは PDF 形式とすること。

6. プレゼンテーション(残りの時間)

各グループから代表者を一人選び(第1回レポートの際発表した学生を可能な限り選ばないこと)、そのレポートのプレゼンを行う。各グループ最大5分。プレゼンを行ったものには本講義の評価へ10点加点する(第1回レポートの際発表した学生には加点しない)。プレゼンテーションの際には PC を用いること(PowerPoint でも PDF でもよい)。なお、発表は希望順とし、授業時間内に終わらなかった場合は、希望しても発表できないことがある。

7. レポートの修正(必要に応じて)

指摘を受けた問題点を解決するため、必要があれば自分のレポートを修正し、再度 CLE にアップロードせよ(場所は同じ)。期限は今日から1週間後翌日(2024 年 8 月 7 日)とする。修正することが無ければ何もしなくてよい。